

令和4年度

花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

令和4年12月 花巻市

目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-4 観光の振興	1 観光の魅力向上	しごと	1
1-5 農工商観連携の推進	2 特産品の開発		2
2-5 福祉の充実	1 地域福祉の推進	暮らし	3
2-6 健康づくりの推進	2 母子保健の推進		5
3-1 子育て環境の充実	1 子育て支援の充実	人づくり・ 地域づくり	7
4-1 地域主体のまちづくり	1 地域づくりへの参加促進		9

施策No.1-4-1「観光の魅力向上」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	機能している。ただし、「前年度評価時の今後の方向性」に記述されている事項と「反映状況」の事項との対応関係を読み取ることが難しかった。例えば、「今後の方向性」の第一事項に「教育旅行誘致に取組む」等記述されているが、「反映状況」では、第二事項に記述されているので、対応関係をわかりやすく記述してほしい。	御指摘のとおり、対応関係をわかりやすく記述するため、事項ごとに対比できるように記載するなど対応関係に注意し作成いたします。	商工観光部 観光課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	的確に行われている。		
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	的確に行われている。ただし、真意が十分にくみ取れない記述があった。例えば、「コロナ禍の中での開催方法を検証する必要がある」との記述があるが、その真意は、開催方法の検証を通じて、開催方法の改善を行うことで成果の向上を図ることができる、ということであると思われる。	御指摘のとおり、来年度以降、成果の向上を図るために開催方法の改善を行う必要があることに触れるなど真意を分かりやすい形となるよう作成いたします。	商工観光部 観光課
「5 施策の総合的な評価」について	的確に行われている。「課題」と「今後の方向性」との対応関係も読み取れる記述であった。		
●シート記載内容全般について	先に指摘した点を除けば、難しい専門用語には簡単な説明がなされるなど、文章は市民の立場からでも読みやすかった。		

施策No.1-5-2「特産品の開発」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	機能している。なお、ECのサイト、WEBでの販路開拓、ワイナリーなどは、EC（Eコマース、または電子商取引）のサイト（具体的なサイトがあれば、そのサイト名）、WEB（具体的なサイト名があれば、そのサイト名）、ワイナリー（醸造所）と記載されているとわかりやすい。	御指摘のとおり、来年度からの評価では具体的な名称を記載するなど、分かりやすい形となるよう努めます。	地域振興部 定住推進課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	的確に行われている。	/	
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	的確に行われている。なお、事務事業の施策への貢献度における「直結度」の評価については、資料の説明の際にコメントしていただくとよい。	御指摘のとおり、来年度からの説明時に当該箇所の評価の仕組みについて説明します。	総合政策部 秘書政策課
「5 施策の総合的な評価」について	的確に行われている。	/	
●シート記載内容全般について	それぞれの文章は読みやすかった。	/	

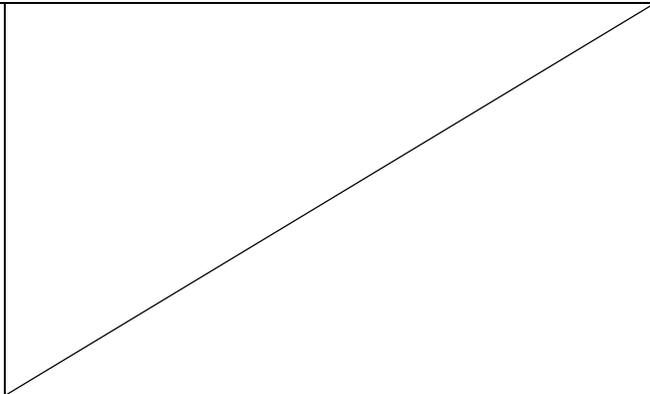
施策No.2-5-1 「地域福祉の推進」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p>	<p>・「福祉の相談窓口の周知方法として、予定していた SNS の活用には至らなかった」とあるが、その理由に関する言及（たとえばコロナ対応のために SNS 活用体制に人員を割けなかったことなど）があれば良かった。</p>	<p>・当課の担当者が直接 SNS での情報発信に手をかけてこなかったことから、「SNS の活用には至らなかった」という認識でございましたが、Facebook での投稿については、広報係担当者がホームページの新着情報をそのまま引用する形で投稿しているため、結果的に SNS の活用ができておりました。今後もホームページでの新着情報を積極的に配信し、SNS を活用した情報発信につなげてまいります。</p>	<p>健康福祉部 地域福祉課</p>
	<p>・「福祉ボランティア活動の参加者や活動件数の減少」の記述はいささか唐突に出てきたような印象を受ける。その取り組みである懇談会等の開催がコロナ禍の影響で十分できなかったことが書かれていれば、そうした印象をもたなかったかもしれない。</p>	<p>・御指摘のとおり、来年度より取り組みの背景を記載するなど評価内容の表現を改めます。</p>	<p>健康福祉部 地域福祉課</p>
	<p>・全体的に、当該年度はコロナ禍における対応という特別な事情があり、多くの事業は当初の計画どおりに行うことが困難となったことから、方向性に対する反映状況には、「・・・するに至らなかった」あるいは「・・・する必要がある」のように、いわば「反省」のような書き方にならざるを得なかったのは気の毒である。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、反映状況に記載すべき状況の多くが目標に至らなかったため、現状の記載内容にとどめておりました。</p>	<p>健康福祉部 地域福祉課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p>	<p>・当該年度の達成状況に関する市民アンケート結果をもとにした背景や要因の分析はおおむね的確になされていると考えられる。欲をいえば、ここ数年、達成度「B」という状況に変化がないことについての、何らかの考察があればさらに良かった。</p>	<p>・御指摘のとおり、達成状況に変化がないことにつきましては、来年度以降考察を追加します。</p>	<p>健康福祉部 地域福祉課</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ちなみに、今後、成果指標とその達成状況に関する背景や要因などの分析をよりの確に行おうとするならば、成果指標となる現行のアンケート設問項目やその内容等の検討も必要になってくるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御指摘を受けまして、市民アンケートの設問項目や内容について検討します。 	健康福祉部 地域福祉課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	「施策を構成する事務事業一覧」の「直結度」や「成果」などを踏まえた内容となっている。		
「5 施策の総合的な評価」について	おおむね、現状と課題をふまえた総合的な評価となっている。全体的に方向性としては理解できるが、可能であればもう少し具体的な取組内容に触れられるようであれば、さらに良かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・御指摘のとおり、具体的な取組内容について触れていなかったことから、来年度の評価より具体的な取組内容についても加味した上で評価します。 	健康福祉部 地域福祉課
●シート記載内容全般について	(シート記載内容ではないが) 今回からヒアリングに担当部長さんが入ることになり、質疑がより充実したものとなった。また部会に際し、事務局から「施策評価シート」をA3版に拡大コピーして配布してもらった。読みやすく助かった。良い配慮である。		

施策No.2-6-2「母子保健の推進」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	「前年度評価時の今後の方向性」で示された課題に対応する形で取り組みがなされている。		健康福祉部 健康づくり課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<p>・担当課が健診未受診者に対して電話や訪問などを通して積極的に受診勧奨に取り組んだにもかかわらず、「乳幼児健康診査受診率」が低下した背景・要因として、個々の調査から、入院治療中など個別事情のほかコロナ感染状況および感染不安による受診時期の延期や受診控えなどがその理由として認められており、未受診者は受診の意思がありながらも、いわゆるコロナ禍に係る当該年度特有の特殊事情などにより、年度内の受診を見送るという状況の存在が指摘されている。おおむね的確に分析がなされているものと考えられる。</p> <p>・最後の一文はこの分析を受けて「対象者は必要な健診を受診するものと推察される」となっているが、この一文は、このままだと、あたかも担当課が対象者の状況を把握していないかのような誤解を与えてしまうのではないかと懸念される。たとえば次のような文章にすることで、この一文の趣旨がより分かりやすくなるのではないかと懸念される。たとえば次のような文章にすることで、この一文の趣旨がより分かりやすくなるのではないかと懸念される。たとえば次のような文章にすることで、この一文の趣旨がより分かりやすくなるのではないかと懸念される。</p> <p>「・・・、受診率が低下した。未受診者は年度内の受診は見送ってはいるが、<u>受診の意思は確認できていることから、しかるべき時期に必要な健診を受診するものと捉えている。</u>」</p>	<p>・御指摘のとおり、未受診者の状況は把握している現状を踏まえた内容であることがわかるよう記載します。</p>	健康福祉部 健康づくり課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	「施策を構成する事務事業の検証」はおおむね的確になされていると考えられる。特に「新たに取り組むべき事業」として「望まない妊娠への対応」を課題としてとりあげている点は、高く評価できる。		健康福祉部 健康づくり課

<p>「5 施策の総合的な評価」について</p>	<p>「前年度の評価の振り返り」、「反映状況」、「成果指標の達成状況」、「施策を構成する事務事業の検証」等を踏まえ、施策の課題と今後の方向性についてその総合的な評価がおおむね的確になされていると考えられる。とりわけ、全体として妊娠届け出数自体は減少している一方で支援を必要とする妊婦の数は逆に増加していること、そして支援が必要とされる個々のケースはその内容が複雑化・多様化していることなど、現時の社会における母子をとりまく状況とその健康保持・増進の課題が的確にとらえられていると評価できる。</p>		<p>健康福祉部 健康づくり課</p>
<p>●シート記載内容全般について</p>	<p>施策の目指す姿は「安心して出産し親子が健やかに育っています」となっているが、施策評価シートには産後ケアに関わる部分の記載はあるが出産までの支援に関する事業の記載が比較的少ないように感じた。例えば、産科医療機関についての記載など周産期医療に関してどうなっているのか、記載がないことが気がかった。</p>	<p>・周産期医療は、実施主体が医療機関であり、母子保健事業とは性質が異なることから、市では別建ての施策「地域医療の充実」において、周産期医療の確保等に取り組んでいるところです。母子保健事業においては、妊婦健診費用の補助や特定妊婦支援などの出産に向けた支援、出産後は産後ケア事業や養育医療費助成、乳幼児健診など、母子の心身の健康づくり支援を進めています。</p>	<p>健康福祉部 健康づくり課</p>
	<p>今回ヒアリングをして、周産期医療に関する事業は他の施策「地域医療の充実」のところで扱われていることを知った。目指す姿が複数の施策を構成する事業に関わっている場合、現行の施策単位の評価の方法だけだと、適切な評価の実現を目指すにあたり一定の限界があるかもしれない。</p>	<p>・施策の目指す姿は、課題を解決するために進む方向であり、施策ごとに定めているものです。普遍的な表現であるため、必ずしもその施策を構成する事業のみに関わるものではありませんが、必要に応じて別施策の事業を再掲したり、事業の実施主体や性質によって複数の施策に分けていたり、ひとつの施策で評価を完結できるように施策評価シートを作成しているものです。 適切な評価の実現に向けては、必要に応じて参考資料を用意することについて検討してまいります。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>

施策No.3-1-1「子育て支援の充実」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の実績値が目標値から乖離し続けており、前年度評価時の今後の方向性として、「アンケート内容の見直しを行い相談体制が不十分と感じる理由を分析する」としているが、アンケート内容について深く掘り下げて検討すべきであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり理由の分析に不足があるため、来年度の評価に反映できるようアンケート内容について再度検討します。 	<p>教育部 こども課</p>
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<ul style="list-style-type: none"> 市の子育て相談体制の満足度について、3歳児検診アンケートで成果指標を測定しているが、3歳児のみならず、子育ての時期に当たる幅広い年齢層の状況についても、抽出調査でもよいので、把握した上で分析すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり3歳児に限らず幅広い年齢層の子育ての状況を把握することは必要と考えますので、次期総合計画策定に向けた施策の検討に合わせ、成果指標の測定方法について検討していきます。 	<p>教育部 こども課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 保育所の待機児童について、「保育士不足」とあるが、どの程度不足しているのか等、その詳細が不明であるので、さらなる深く掘り下げた分析を求めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童数に対し、保育士の配置基準に従って単純に計算すると必要な保育士数は算出できますが、保護者が入所を希望する施設はそれぞれ異なっており、また、各施設の児童数や職員の配置状況によっても必要数が変わってくることから詳細を示すことは難しく、現状の説明にとどめています。 	<p>教育部 こども課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 「待機児童の増加」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、家庭で子どもをみなければいけなくなった家庭も増加しているため、そのことをふまえた説明も必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、保育所等の休園による仕事への影響など、子育て世帯に様々な影響を及ぼしているものと推察しておりますが、これは「待機児童の増加」とはまた別の問題であると認識しており、現状の説明にとどめているところです。 	<p>教育部 こども課</p>
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童支援事業について、放課後児童クラブについても支援員が不足している状況にあることから、それに対する対応も必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり放課後児童クラブの支援員が不足しており、待機児童が発生している状況がありますことから、市として支援員の確保に取り組むこととし、「5 施策の総合的な評価」に今後の方向性としてその旨記載したところです。令和4年度において、5月と11月の広報はなまき及び市ホームページに支援員募集の記事を掲載したとこ 	<p>教育部 こども課</p>

		ろですが、その効果等を確認しながら引き続き支援員確保に向けた取り組みを進めていきます。	
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> 課題として提示されている「子育てに関する相談窓口について十分に認知されていない状況」について、さらに掘り下げて具体的な今後の方向性を示すための分析が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘を受け、相談窓口が十分に認知されていない理由の分析が必要と考えますので、現在実施しているアンケート調査への項目の追加等、令和4年度において情報収集を行います。 	教育部 こども課
	<ul style="list-style-type: none"> 課題として提示されている「施設の老朽化」について、いつ何を行う予定なのか等、明確に記載すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備等、実施予定の時期が決まっているものについては具体的に記載するようにいたします。 	教育部 こども課
	<ul style="list-style-type: none"> 「支援員の不足」および「保育士不足」について、どの程度不足しているのかについての定量的なデータを示すべきである。さらに、市内各地域の状況についても分析すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援員や保育士の必要数についてデータを示すことは難しいところですが、地域の状況等、記載可能な部分については丁寧に記載するよう努めます。 	教育部 こども課
	<ul style="list-style-type: none"> 今後の方向性の多くの項目に「周知を図る」と記載されているが、周知を行うだけでは今後の方向性とは言えないのではないか。これまでも周知を行ってきており、周知以外に取り組むべきことを検討し、今後の方向性として具体策を示すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な子育て支援策に取り組んでおりますが、制度を知らなかったというご意見もいただいていることから、制度を有効に活用していただくため効果的な周知に取り組んでいきたいと考えたところです。なお、ご指摘のとおり、現在実施している施策を検証しながら、新たに取り組むべきことがないか検討していきます。 	教育部 こども課
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> 施策評価シートの各項目間はリンクしているはずであるから、各項目間のつながりを明確にし、それぞれ対応させて記載すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘を踏まえ、各項目がそれぞれ対応した記載となるようにいたします。 	教育部 こども課
	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成状況について、その背景・要因についての深い分析が必要と思われるが、記入欄が狭いため、十分に分析を行っているかどうかについて判断がつかない。詳細に記入できるよう改善を求めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 記入欄については必要十分に確保しつつ、十分に分析された結果を簡潔に記載できるよう、実施要領等を定めて評価を行っていきます。 	総合政策部 秘書政策課

施策No.4-1-1 「地域づくりへの参加促進」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 反映状況に「促進につなげていく」という表現があるが、実績を示す表現ではないので、改善を求めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり、表現の修正が必要と考えるので、来年度から「振興センター等について所要の整備を行った」等、実績を示す表現に改めます。 	<p>地域振興部 地域づくり課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ助成事業について、「市HP等で周知」とあるが、口頭での説明では「広報はなまき」での周知が最も効果的であったとのことであるので、より正確かつ具体的な記述を求めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり、記載内容が不足しておりましたので、来年度から、実態に即した正確かつ具体的な文章表現で記述します。 	
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の目標値について、コロナ禍以前に目標値として定めたものであるため、成果として整合的かどうかについての判断が難しい状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標「振興センター利用人数」は、新型コロナウイルス感染拡大により多くの行事や地域活動の中止、市公共施設の利用制限の実施などコロナ禍の影響を受け、目標値を大きく下回りましたが、成果指標は複数年にわたり、成果等を計測し進捗状況を確認するためのものであり、一定期間の間、変更を行わないものと認識しております。 	<p>地域振興部 地域づくり課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿に「老若男女多くの住民」の地域づくりへの参加とあるので、それをふまえた達成状況の分析が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 性別・年齢を問わず、住民の誰もが地域づくりに参加することを目指すという視点での達成状況の分析が不足していたため、来年度の評価では、市民アンケートの結果を加味して検証します。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標とされている「振興センター利用人数」は延べ人数であるので、その利用内訳や地域差の有無など、さらに深い分析が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「振興センター利用人数」は施設利用申請書に基づく指定管理者からの報告により把握しており、利用延べ人数を地域活動の活性化を測る1つの目安としておりますが、利用の内訳や地域差の有無などを分析することにより、施設の有効活用が図られるよう努めます。 	

<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p>	<p>・「①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業」および「新たに取り組むべき事業」について「なし」とされているが、その根拠を記載すべきである。</p>	<p>・施策評価シートの作成にあたっては、記載要領を定めており、事務事業評価の結果、改善すべき点がない場合は項目ごとに「なし」と記載するとしています。</p> <p>事務事業評価シート（事後評価）の中で、各事業の「目的妥当性」「有効性」「効率性」「公平性」を分析・検討した上で①②③を記載していることから現状のとおり記載しております。</p> <p>「新たに取り組むべき事業」につきましては、現在の施策の不備な点を補うもの、新しい課題に対応するため取り組む事業について記載する欄ですので、御指摘のとおり「なし」の場合、その根拠を記載しているものはないため、来年度以降の評価の際に記載すべきであるか検討してまいります。</p>	<p>地域振興部 地域づくり課 総合政策部 秘書政策課</p>
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p>	<p>・振興センター等整備事業については、公共施設マネジメント計画に基づき実施されているもので、他部局も関係するものであると思われるので、その記述の仕方には留意する必要がある。</p>	<p>・公共施設マネジメント計画は、既存の公共施設の安全性や利便性を改善し長寿命化に取り組む計画で、振興センター等の整備事業についてもその計画に基づいています。改修工事につきましては、施設の種別により担当部署が分かれば、各部署がそれぞれ維持管理しているため、当課としての考えを「今後の方向性」に記載しております。</p>	<p>地域振興部 地域づくり課</p>
<p>●シート記載内容全般について</p>	<p>・施策評価シートの各項目間はリンクしているはずであるから、各項目間のつながりを明確にし、それぞれ対応させて記載すべきである。</p>	<p>・来年度は、各項目間の対応関係について、つながりがわかるように留意して記載します。</p>	<p>地域振興部 地域づくり課</p>
	<p>・成果指標の達成状況について、その背景・要因についての深い分析が必要と思われるが、記入欄が狭いため、十分に分析を行っているかどうかについて判断がつかない。詳細に記入できるよう改善を求めたい。</p>	<p>・記入欄については必要十分に確保しつつ、十分に分析された結果を簡潔に記載できるよう、実施要領等を定めて評価を行ってまいります。</p>	<p>総合政策部 秘書政策課</p>